



秋葉原で無差別殺人事件が起きた。男は「世の中がいやになった」「生活に疲れた」という。でも、なぜ人を殺さなくてはならないのか。もし、彼自身がまた彼の家族が、明日をも知れない命を前にしていたなら、命の大切さが身にしみるだろう。誰も懸命に生きている。誰にも大切な人が居る。命の大切さは有名進学校でも教えてくれなかった。彼はどこで人の道を誤ったのだろうか。

<第156回 ほほえみの会>
4人の参加でした。

中学2年生 女子 再生不良性貧血。1ヶ月ほど前から本人は体がだるい状態だったようだが、親は気が付かなかった。紫斑が出たため皮膚科で診察を受けた所、血液検査で白血球が減っていることがわかった。結果の出たその日のうちに総合病院へ行き、こども病院を紹介されてそのまま入院。突然のことで親はビックリ。1ヶ月ほどの入院のあと、今は自宅に戻り飲み薬での免疫療法。過激な運動を避ければ普通の生活は大丈夫とのことで、学校にも通いしたが、新学期で新しいクラスになったこともあり、なじめない様子。また薬で顔が浮腫むこともあり、いじめの対象にならないか心配。今後の治療は、免疫療法を続けるか、骨髄移植を受けるかで悩む。骨髄のHLA検査で家族は合わず、ドナー登録をした所、幸い合う人がいた。3ヶ月で治療方針を決めることになっているが、どうしたらいいのか悩む。

緊急のお知らせ

来月の総会で報告しますが、いま会の会計残高が底をついています。これは、去年の総会后に会費の納入案内を私が出し忘れたためですが、是非皆さん昨年分も含めて会費の納入をお願いします。未納がある方には、ご案内を同封しますのでよろしくをお願いします。

ほほえみの会 総会

日時：2008年7月13日(日)11時～13時

場所：L棟3階 大会議室

内容：2007年度活動報告・会計報告
2008年度役員選出

こども病院 ナース ドクターのお話

「小児がん化学療法における認定看護師の役割」
北5病棟 加藤 由香 看護師

「前処置を減弱した造血幹細胞移植」
血液腫瘍科 呉 彰 医師

「小児血液腫瘍性疾患に対する臨床試験および
希少疾患に対する治療」
血液腫瘍科 堀越 泰雄 医師

特別講演

「小児がん経験者が入れる生命保険」
講師 ハートリンク共済

事務局長 林 三枝 さん



「ハートリンク共済」

小児がん経験者が加入できる生命保険はほとんどありません。そこで、小児がん経験者がそのような不利益を受けることのないよう、患者本人達が入ることのできる生命保制度を昨年から立ち上げました。

*お子様はボランティアの方が面倒を見てください。
軽食も用意してあります。お気軽にご参加ください。



次回は 7月 13日(日) 11時からです

ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560

E-mail アドレス k_likeda@yahoo.co.jp

ホームページ <http://www.geocities.jp/hohoeminokai/>